





いきなり白毛門まで1,000mの急登。しばらく山から遠ざかっていた私の本日のテーマは「バテない」「つらない」。



2時間近く登ると雪世界となり、景色も開け登高意欲が湧く。白毛門ピストンの登山者はそこそこいたが、バックステップで、ストックをナイフのように持ち、刺し刺ししていた下降者もいた。恐怖。



<白毛門から望む、笠ヶ岳、朝日岳>  
コースタイムを大幅に上回り、白毛門に立つ。へろへろであった。

<タイム>土合駐車場 (10:40) - 白毛門 (15:20 - 笠ヶ岳北のテン場 (16:35)

#### ■ 5月4日 (土) 晴れ



笠を越えた鞍部がテン場。この縦走は南北の尾根を歩くため、稜線上のテン場は最高に気持ちが良い。尾根の西側は雪が溶け藪が出てきているが、風よけ壁にもなる。東には雪が豊富に残っていてテン場敵地も自由度が高い。朝日は雪山を染めながら幻想的な世界を創り出す。これぞ春山。



とはいっても、昨日の疲れを引きずりな

がら出発。これからは“癒しの雪山散歩”  
と言いたかったが、当然アップダウンは  
いくつも有り“3割癒し、7割苦行？”  
だった。

谷川岳へと続く縦走路、こちらもいつ  
か行ってみたい有名な馬蹄形ルート。そ  
の分岐点となるジャンクションピークを  
右に折れ、いよいよさらに静かな群馬県  
と新潟県の国境稜線を辿っていく。

右手は以前途中敗退したナルミズ沢の  
源頭部で、広くなだらかで真っ白な斜面  
が広がっていた。ここが夏には広大な草  
原に衣替えするなんて！やっぱり夏に沢  
ルートでまた来るぞ！

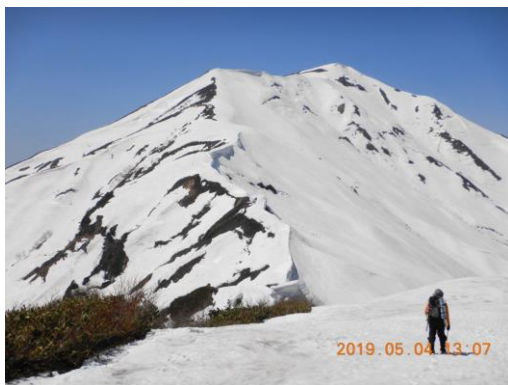


<遙かスカイラインに巻機山が・・・>



時折クラックが発達していて、中には身

長以上の落とし穴もある。落ちて危険と  
言うより、はまってバランスを崩し滑落  
することが怖い。



<平坦な檜倉山を越え、柄沢山を望む>  
優雅でかつこいい山だが登りはキツく、  
途中大雪庇もあり悪天ならこの前で停滞  
だろう。ただし次が最終日であればでき  
れば越えたいところだ。

黙々と休み休み登り、ピークを越えれ  
ば、どこでもテン場状態だった。



<絶景の中で明るいうちからビール！>  
これがあるから春山は辞められない。

(もちろん炊事前はちょっとだけよ・・・)

<タイム>笠ヶ岳北のテン場 (5:50) -  
JP(8:20) - 檜倉山(13:00) - 柄沢山(15:00)-  
柄沢山北のテン場(15:20)

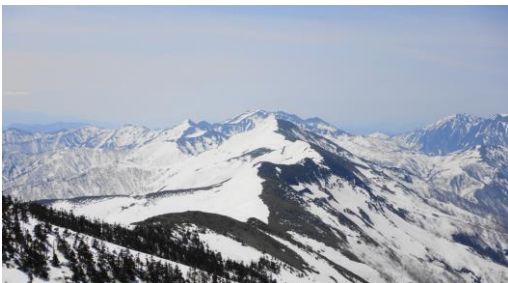
■ 5月5日（日）晴れ



北に行くほど雪は深くなった。当然雪庇も発達し、巨大化。大きくクラックも出現した。今回天候に恵まれたため、全体像を確認しながら最適コースを選択することができたが、天候次第でリスクは極端に変動する。



切り立った尾根もあり、雪庇、クラックが発達していたため、時には藪に突入。



<巻機山よりこの3日間の軌跡・・・>

最後はなだらかな雪原をまったりと登り、どこがピークかわからないような巻機山を通過。100名山らしく私たちが下るコースからたくさんの人が登ってきた。



<これぞ春山！雪が融け命が輝き出す> 意外と難解なラストの樹林帯ルートを抜け、バスの時間に間に合わんと焦っていたら、頂上で会話をした方に車でバス停まで送っていただきセーフ！神様でした。



<ごごみ→ここでは、ごごめ>

六日町のスーパーでは、山菜が大量にしかも安く販売されていて、めずらしいごごみやうどをお土産にした。

地元食堂でもいろいろな山菜の天ぷらを食し、大満足で山旅を終えたのでした。

<タイム>柄沢山北のテン場(5:15)－巻機山 (9:35-10:00)－清水バス停(14:00)

(磯部 記)